

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

<p>実践年度・タイトル</p>		<p>平成28年度 タブレット端末を活用した学習提示</p>
<p>授業について</p>	<p>教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)</p>	<p><input type="checkbox"/>国語 <input type="checkbox"/>社会 <input type="checkbox"/>算数/数学 <input type="checkbox"/>理科 <input type="checkbox"/>生活 <input type="checkbox"/>音楽 <input type="checkbox"/>図画工作/美術 <input type="checkbox"/>家庭/技術・家庭 <input checked="" type="checkbox"/>体育/保健体育 <input type="checkbox"/>道徳 <input type="checkbox"/>外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/>総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/>特別活動 <input type="checkbox"/>自立活動 <input type="checkbox"/>各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/>その他の教科 <input type="checkbox"/>その他()</p>
	<p>単元・題材名</p>	<p>サーキットをしよう</p>
	<p>授業の目標</p>	<p>・教師の支援で腕や体を動かすことができる。 ・映像を見て体操をすることができる。 ・順番を待つ、座って待つなど、簡単な約束を守って取り組むことができる。</p>
	<p>観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)</p>	<p><input type="checkbox"/>「知識・理解」 <input type="checkbox"/>「技能」 <input checked="" type="checkbox"/>「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/>「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/>その他()</p>
<p>学習集団と子どもの実態</p>	<p>学校・学部・学年・人数</p>	<p>■特別支援学校 <input type="checkbox"/>就学前 ■小学生 <input type="checkbox"/>中学生 <input type="checkbox"/>高校生以降 <input type="checkbox"/>特定されない 1. 2. 3年 8人</p>
	<p>対象の障害</p>	<p><input type="checkbox"/>視覚障害 <input type="checkbox"/>聴覚障害 ■知的障害 ■肢体不自由 <input type="checkbox"/>病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/>言語障害 ■自閉症 <input type="checkbox"/>情緒障害 <input type="checkbox"/>LD(学習障害) <input type="checkbox"/>ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/>その他</p>
	<p>子どもの課題 (特性・ニーズ)</p>	<p>■見る ■聞く ■話す <input type="checkbox"/>読む <input type="checkbox"/>書く <input type="checkbox"/>計算する <input type="checkbox"/>推論する ■運動と姿勢 <input type="checkbox"/>日常生活活動 <input type="checkbox"/>不注意 <input type="checkbox"/>多動性・衝動性 ■社会性・コミュニケーション ■覚える・理解する <input type="checkbox"/>その他 ・視覚優位の児童や、状況の変化に応じて行動することが難しい児童が多い。 ・タブレット端末を使うことに慣れていて、興味がある児童が多い。 ・学習提示を行うことによって見通しをもつことができ、比較的穏やかに学習に取り組むことができる。</p>
<p>ICT活用について</p>	<p>使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)</p>	<p>【ハードウェア】 ・タブレット端末(iPod) 【ソフトウェア】 ・keynote(プレゼンテーション用アプリケーション)</p>
	<p>活用のねらい</p>	<p>Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/>A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/>A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(■B1情報入手支援 <input type="checkbox"/>B2機器操作支援 <input type="checkbox"/>B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/>C1教科学習支援 <input type="checkbox"/>C2認知発達支援 <input type="checkbox"/>C3社会生活支援) ・テレビやタブレット端末に興味があり、タブレット端末を使うことに慣れている児童が多い。 ・視覚的に学習内容を提示することにより、見通しをもつことができ、より主体的に参加することのできる児童が多い。</p>
<p>授業に授業展開支援</p>	<p>授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)</p>	<p>1 あいさつ 2 学習内容の提示 ・タブレット端末からテレビ画面に投影した学習内容を提示。 3 体操 ・テレビ画面に映し出された2つの体操から1つを選び、映像を視聴しながら体操をする。 4 サーキット運動 5 発表 </p>
<p>効果・評価</p>	<p>子どもの様子や変容および授業の評価</p>	<p>・学習内容をタブレット端末からテレビ画面に投影し、児童に伝えることで、見通しをもって活動に取り組むことができた。 ・約束や体操の見本など、印刷されたものを児童に提示するよりも、映像をテレビ画面を通して提示することによって、どちらの体操にしたいか、明確に意思を表示したり、模倣したりすることができた。</p>